

コード	501020106
記入日	H25.5.17

課コード	124
課名	学校教育課
課長名	濱崎 健也
担当者	釜崎 儀弘

事業評価表【途中評価】

作成年度	平成 25 年度
------	----------

評価対象事業名称	通園費補助事業
----------	---------

事業種類	単年度繰返事業
事業期間	平成 17 年度 ~ 平成 - 年度

総合計画の位置付け				財務会計の位置付け	
政策コード	5	政策名称	しまの誇り・文化の育成	款コード	10
施策コード	501	施策名称	学校教育の充実	項コード	4
基本事業コード	50102	基本事業名称	幼児教育の充実	目コード	1
事務事業コード	5010201	事務事業名称	幼稚園管理事業費	細目コード	393
関連計画		法令・条例規則等	新上五島町通学費補助金支給に関する要綱		

計画 (PLAN)		※単年度繰返事業については、全体欄を*****とする。				
対象：誰、何を対象にしているのか		対象指標：対象の大きさを表す指標				
(対象1) 対象地区園児数		(対象指標1) 8人				
(対象2)		(対象指標2)				
事業の概要：具体的なやり方、手順、詳細を記入		活動指標：事務事業の活動量を表す指標・達成率（上段：全体、下段：評価年度）				
(全体)	(評価年度実績)	(指標名称)	(指標数値)	(達成率)	(達成率積算根拠)	(目標達成年度)
*****	・休廃園となった園区の園児保護者に対し、通園費の補助を行い、遠距離通園の保護者負担の軽減を図った。	***** 補助金交付園児数	8人	100%	***** 補助金交付園児数÷ 補助金申請園児数	***** 平成24年度
		① (達成率分析)	補助申請のあった補助対象園児の保護者に対し、審査の上全員に補助金を交付した。			
		② (達成率分析)				
目的：何をしたいのか		成果指標：目的の達成度を表す指標・達成率（上段：全体、下段：評価年度）				
	・休廃園となった園の園区に居住する園児の通園に要する費用の一部を補助することにより、保護者の経済的負担の軽減を図り就学の機会均等に資する。	(指標名称)	(指標数値)	(達成率)	(達成率積算根拠)	(目標達成年度)
		***** 就学の機会均等、負担軽減	-	-	-	***** 平成24年度
		① (達成率分析)	休廃園となった園区の園児の通園に要する保護者の負担軽減及び就学の機会均等に資するものである。			
		② (達成率分析)				

実施 (DO)		※単年度繰返事業については、評価終了した年度及び評価年度を記載し、その合計を全体計画欄に記載する。									
	単位	全体計画		23年度以前	24年度		25年度	26年度	27年度	28年度	29年度以降
		計画	実績	実績	計画	実績	計画	計画	計画	計画	計画
活動指標	① 人	66	66	58	8	8					
	②										
成果指標	①										
	②										
総事業費 C (A+B)	千円	7,653	7,653	6,369	1,284	1,284					
直接事業費 A	千円	2,053	2,053	1,469	584	584					
人件費 B	千円	5,600	5,600	4,900	700	700					
内訳	従事職員数	人	0.8	0.8	0.7	0.1					
	人件費単価	千円	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000
Cの財源内訳	国補助金	千円									
	県補助金	千円									
	起債	千円									
	その他	千円									
一般財源	千円	7,653	7,653	6,369	1,284	1,284					

評価 (CHECK)

※理由の欄は必ず記載すること。

1次評価	妥当性	・時代情勢、社会環境の変化及び住民のニーズなどを考慮しても、事業を継続する必要がありますか。	● ある ない	理由	休廃園した園区の園児の通園に要する保護者負担の軽減を図ることにより就園の機会均等に資するため必要である。
	有効性	・現在の事業の進め方は、期待されるような成果をもたらしていますか。	● いる いない	理由	対象地区の園児の保護者にとって通園費用の負担軽減が図られ、通園費用が就園希望の妨げとなることを防いでいる。
		・事業の成果をさらに向上させる余地はありますか。	● ある ない	理由	補助金の交付を継続することで対象園区の園児の就園の機会均等に資する。
	効率性	・現在の事業は、費用や業務量に見合った活動結果が得られていますか。	● いる いない	理由	必要最小限の補助額で遠距離通園園児の就園の機会均等に資することができている。
・より少ない費用や業務量で必要な活動結果が得られる手法に代えられませんか。		代えられる ● 代えられない	理由	補助交付額は、燃油価格の変動が著しい情勢であり、軽減を図ることは困難である。	

改善 (ACTION)

1次評価	前回の途中評価における「改善策」と「その反映状況」	特になし。
	今後、課題に向けた改善策	より適正な交付額を随時検討する。

2次評価	保護者の経済的負担の軽減や就園機会の均衡を図るうえで必要なものと判断するが、補助金の交付にあたっては適正に行うこと。
------	--

3次評価 住民等の意見	
町の対応	

今後の事業の方向性	<table border="1"> <tr> <th>1次</th> <th>2次</th> <th>3次</th> <td></td> </tr> <tr> <td>●</td> <td>●</td> <td></td> <td>このまま事業を継続</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>事業内容を見直して事業を継続</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>事業費を見直して事業を継続</td> </tr> </table>	1次	2次	3次		●	●		このまま事業を継続				事業内容を見直して事業を継続				事業費を見直して事業を継続	<table border="1"> <tr> <th>1次</th> <th>2次</th> <th>3次</th> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>類似事業と整理統合</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>事業の休止</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>事業の廃止</td> </tr> </table>	1次	2次	3次					類似事業と整理統合				事業の休止				事業の廃止
	1次	2次	3次																															
	●	●		このまま事業を継続																														
				事業内容を見直して事業を継続																														
			事業費を見直して事業を継続																															
1次	2次	3次																																
			類似事業と整理統合																															
			事業の休止																															
			事業の廃止																															

※3次評価については、住民等の意見があった場合にのみ、再公表するものとする。